

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成25年8月12日
【四半期会計期間】	第56期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	ヤスハラケミカル株式会社
【英訳名】	YASUHARA CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 安原 禎二
【本店の所在の場所】	広島県府中市高木町1080番地
【電話番号】	0847(45)3530(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部部长 青山 勝則
【最寄りの連絡場所】	広島県府中市高木町1080番地
【電話番号】	0847(45)3530(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部部长 青山 勝則
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期 第1四半期累計期間	第56期 第1四半期累計期間	第55期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	2,884,604	2,814,502	11,037,667
経常利益(千円)	105,842	84,239	270,294
四半期(当期)純利益(千円)	1,322	50,883	88,842
持分法を適用した場合の投資利益(千円)	-	-	-
資本金(千円)	1,789,567	1,789,567	1,789,567
発行済株式総数(株)	10,839,663	10,839,663	10,839,663
純資産額(千円)	16,552,776	16,650,778	16,661,885
総資産額(千円)	23,698,326	22,274,745	22,393,182
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	0.13	4.95	8.65
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	12.00
自己資本比率(%)	69.85	74.75	74.41

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書の提出日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政権交代に伴う経済政策への期待感と、日銀の大幅金融緩和による円安進行で、輸出環境の改善や株価の回復など明るい兆しがみられました。しかしながら欧州の債務問題に対する不安感や、世界経済の鈍化懸念等から先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社が関係しております粘着・接着・香料・電子材料・ラミネート業界におきましても、国内需要の低迷、原材料高や企業間における価格競争の激化等、大変厳しい状況が続いております。

このような経済情勢のなかで、当社といたしましては、国内外の新規市場並びに新規顧客の開拓、既存取引先との関係強化を積極的に推進し販売の拡大に努力する一方、全社にわたり生産効率のアップ、業務の効率化を実施し、収益の確保に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高2,814百万円（前年同四半期比97.6%）、経常利益は84百万円（前年同四半期比79.6%）、四半期純利益は50百万円（前年同四半期は1百万円の純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

テルベン化学製品

粘着・接着用樹脂においては、電気絶縁テープ用途のテルベン樹脂及び自動車部品用途の変性テルベン樹脂がそれぞれ低調に推移いたしました。化成品においては、香料用途は堅調に推移いたしました。ペースト溶剤用途及び機能化学品用途が需要低迷の影響を受け、売上が大幅に減少いたしました。その結果、当事業全体の売上高は2,032百万円（前年同四半期比92.9%）、セグメント利益は186百万円（前年同四半期比62.5%）となりました。

ホットメルト接着剤

ホットメルト接着剤においては、包装用途は価格競争の影響により低調に推移いたしました。食品用途の押出しコーティング用ホットメルト接着剤及び自動車部品用途が輸出を中心に好調に推移いたしました。その結果、当事業全体の売上高は663百万円（前年同四半期比117.5%）、セグメント利益は22百万円（前年同四半期比171.5%）となりました。

ラミネート品

製本向け光沢加工紙用ラミネートフィルムは、国内需要の低迷と価格競争の影響により低調に推移いたしました。その結果、当事業全体の売上高は117百万円（前年同四半期比90.0%）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期比173.9%）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間における研究開発活動に要した金額は、45百万円であります。

なお、当第1四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,000,000
計	22,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	10,839,663	10,839,663	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	10,839,663	10,839,663	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	10,839,663	-	1,789,567	-	1,728,997

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 564,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,264,500	102,645	-
単元未満株式	普通株式 11,063	-	-
発行済株式総数	10,839,663	-	-
総株主の議決権	-	102,645	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が700株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数7個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ヤスハラケミカル株式会社	広島県府中市高木町1080番地	564,100	-	564,100	5.20
計	-	564,100	-	564,100	5.20

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成していません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,468,023	1,729,739
売掛金	2,219,650	2,184,734
製品	1,969,878	1,710,346
仕掛品	1,056,712	906,332
原材料及び貯蔵品	7,924,660	8,164,725
繰延税金資産	48,428	25,839
未収還付法人税等	297,738	280,276
その他	396,026	156,796
貸倒引当金	2,219	2,219
流動資産合計	15,378,898	15,156,571
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	907,302	891,973
機械及び装置(純額)	725,464	686,387
土地	3,669,705	3,669,705
その他(純額)	654,146	724,596
有形固定資産合計	5,956,618	5,972,663
無形固定資産	203,534	191,672
投資その他の資産		
投資有価証券	688,548	690,318
繰延税金資産	112,725	120,407
その他	65,713	155,969
貸倒引当金	12,857	12,857
投資その他の資産合計	854,130	953,837
固定資産合計	7,014,283	7,118,173
資産合計	22,393,182	22,274,745
負債の部		
流動負債		
買掛金	463,049	533,841
短期借入金	4,126,400	3,726,400
未払法人税等	8,105	23,093
賞与引当金	104,572	24,053
その他	422,741	695,513
流動負債合計	5,124,868	5,002,901
固定負債		
長期借入金	27,900	21,300
退職給付引当金	178,385	194,364
役員退職慰労引当金	399,693	404,950
その他	450	450
固定負債合計	606,428	621,065
負債合計	5,731,297	5,623,966

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,789,567	1,789,567
資本剰余金	1,729,013	1,729,013
利益剰余金	13,366,884	13,356,114
自己株式	391,246	391,276
株主資本合計	16,494,218	16,483,419
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	167,666	167,359
評価・換算差額等合計	167,666	167,359
純資産合計	16,661,885	16,650,778
負債純資産合計	22,393,182	22,274,745

(2)【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,884,604	2,814,502
売上原価	2,339,788	2,372,011
売上総利益	544,815	442,490
販売費及び一般管理費	414,938	395,658
営業利益	129,877	46,831
営業外収益		
受取利息	182	438
受取配当金	6,509	5,947
為替差益	-	17,105
その他	4,586	19,829
営業外収益合計	11,279	43,321
営業外費用		
支払利息	7,184	4,534
為替差損	26,666	-
手形売却損	1,254	1,279
その他	207	100
営業外費用合計	35,313	5,914
経常利益	105,842	84,239
特別損失		
固定資産処分損	0	1,227
投資有価証券評価損	77,089	-
減損損失	24,491	-
特別損失合計	101,581	1,227
税引前四半期純利益	4,261	83,012
法人税、住民税及び事業税	463	17,052
法人税等調整額	2,475	15,075
法人税等合計	2,938	32,128
四半期純利益	1,322	50,883

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	119,489千円	117,904千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月19日 定時株主総会	普通株式	61,654	6.00	平成24年3月31日	平成24年6月20日	利益剰余金

当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月18日 定時株主総会	普通株式	61,653	6.00	平成25年3月31日	平成25年6月19日	利益剰余金

(持分法損益等)

持分法を適用した場合の投資損益につきましては、関連会社がありませんので記載しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	テルペン化学製品	ホットメル ト接着剤	ラミネート 品	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,188,835	564,877	130,891	2,884,604	-	2,884,604
セグメント間の内部売上高又は振替高	150,443	36,117	-	186,561	-	186,561
計	2,339,278	600,994	130,891	3,071,165	-	3,071,165
セグメント利益	298,266	13,259	798	312,325	-	312,325

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	312,325
「その他」の区分の利益	-
全社費用(注)	182,448
四半期損益計算書の営業利益	129,877

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「テルペン化学製品事業」において13,470千円、「ホットメルト接着剤事業」において4,408千円、「ラミネート品事業」において6,612千円、それぞれ減損損失を計上しております。

当第1四半期累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	テルペン化 学製品	ホットメル ト接着剤	ラミネート 品	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,032,810	663,825	117,780	2,814,416	85	2,814,502
セグメント間の内部売上高又は振 替高	122,926	29,621	-	152,548	-	152,548
計	2,155,737	693,446	117,780	2,966,964	85	2,967,050
セグメント利益	186,500	22,734	1,389	210,624	85	210,709

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	210,624
「その他」の区分の利益	85
全社費用（注）	163,877
四半期損益計算書の営業利益	46,831

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	13銭	4円95銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	1,322	50,883
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	1,322	50,883
普通株式の期中平均株式数（株）	10,275,646	10,275,766

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月8日

ヤスハラケミカル株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 世良 敏昭 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中原 晃生 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているヤスハラケミカル株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第56期事業年度の第1四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、ヤスハラケミカル株式会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。